

事業を行う場合の支払利子の監査上の取扱いについて」(昭和49年8月20日日本公認会計士協会業種別監査研究部会建設部会・不動産部会申合せ)では、一定の条件を満たす支払利子の取得原価算入を認めている。(不動産開発業者にとっては、開発した不動産は販売目的のために所有している資産であるため、棚卸資産とされる。)

その主な条件とは次のとおりである。

- ①所要資金が特別な借入金によって調達されている。
- ②開発の着手から完了まで相当の長期間を有する。
- ③原価算入の終期は開発完了までとし、適用利率は一般的に妥当なものである。
- ④正常な開発期間の利子である。
- ⑤財務諸表に原価算入の処理について具体的に注記する。

また、固定資産については、「企業会計原則と関係諸法令との調整に関する連続意見書」第三・第一・四・2において、「建設に要する借入金の利子で稼働前の期間に属するものは、これを取得原価に算入することができる」としている。

(意見)

以上から、分取林勘定が棚卸資産であれ、固定資産であれ、分取造林事業のために調達した特別な借入金の利子で、正常な造林期間に関するものを分取林勘定の取得原価に算入することには一定の合理性が認められるものと考えられる。

公社の借入金のうち、農林漁業金融公庫からの借入金利子はこの要件に当てはまるものである。また、県からの借入金の中でも、事業費に充当するために特別に調達したものに關しては、この要件を満たすものと考えられる。

ちなみに、平成15年4月1日付「免責的債務引受契約書」の明細によれば、平成15年3月末の県に対する未払利息相当額7,276百万円のうち、事業資金部分は2,458百万円であり、残額4,818百万円については分取林勘定に算入する根拠が薄弱であるといわざるをえない。

### 3. 分取林勘定の時価評価について

平成15年3月末時点における公社分取林の時価を以下のとおり試算した。しかしながら、前にも述べたように、標準伐期以前の立木の市場価値の算定は極めて困難である。

よって、以下の記述はあくまでも私どもの試算結果であって、その結果が客観的な合理性を持つものではないことを付言する。

#### 3.1 立木の評価手法について

一般に、物の価格を判定する場合、通常、次の3つの点(価格の三面性)を考慮するものとされる。

- ①その物にどれほどの費用が投じられてつくられたか(費用性)
- ②その物がどれほどの値段で市場で取引されるものか(市場性)
- ③その物を利用することによってどれほどの収益が得られるか(収益性)

不動産鑑定評価の場合には、①の考え方にに基づき評価するのが原価法、②の考え方に基づくものが取引事例比較法、③の考え方に基づくものが収益還元法である。

立木評価についても、価格の三面性を考慮して、費用性に着目した費用価法、市場性に着目した売買価法、市場価逆算法、収益性に着目した期望価法、還元価法、費用と収益の両面に着目したグラウゼル法等の評価方法がある。

ただし、立木は年々成長していく成長資産であるため、成長の程度、状況等に応じて異なった手法が用いられる。

人工林の場合、一般的には林齢別に次のとおりの手法が適用される。

分類		評価手法
市場価格のある立木		市場価逆算法
市場価格のない立木	10年生以下	費用価法
	11年生以上	期望価法(壮齡林) グラウゼル法

(注)グラウゼル法には、①グラウゼル式、②グラウゼル近似式の2通りがある。①は、伐期収入と初年度造林費に基づき計算する方法である。②は、10年生までは費用価を採用し、それ以降の林齢から伐期までは、グラウゼル式を一部修正した算式を用いて計算する方法である。

(参考文献:「林地・立木の評価」小倉康彦・小倉康秀著、清文社)

#### 3.2 市場価逆算法

平成15年3月末の樹種別植栽面積の内訳は次のとおりである。

樹種	植栽面積(ha)	構成比
スギ	8,376.83	81.8%
アカマツ	1,472.45	14.4%
クロマツ	132.97	1.3%
カラマツ	199.98	1.9%
その他	60.05	0.6%
合計	10,242.28	100.0%

主伐の時期は、杉、アカマツともに55年を想定している。

青森県森林組合連合会木材流通センターが公表している平成15年10月現在の素材価格に基づき、公社が長期収支計画の資料として作成した表を示す。

樹種	種別	林齢	ha当り立木材積(m <sup>3</sup> )	利用率(%)	ha当り立木単価(千円)
スギ	間伐Ⅰ	27	65.00	13.8	△ 16
	間伐Ⅱ	37	76.00	55.1	226
	間伐Ⅲ	46	86.00	65.2	399
	主伐	55	790.00	70.0	3,796
マツ類	間伐Ⅰ	27	53.00	7.7	△ 75
	間伐Ⅱ	38	59.00	57.1	△ 5
	間伐Ⅲ	45	56.00	52.0	44
	主伐	55	512.00	67.2	710

この表は、長期収支計画における主伐収入、間伐収入の見込額算定のために作成したものであるため、間伐Ⅰから間伐Ⅲのha当り立木材積は、あくまで間伐見込の立木のha当り材積であって、当該林齢で皆伐した場合の材積ではない。従って、林齢55年の立木についてのみ、市場価逆算法を採用することとした。

### 3.3 費用価法及びグラーゼル法

まず、10年生以下の幼齢林について、費用価法の検討を行った。費用価法は、実際に要した費用に利息要素を反映して計算するものである。

#### (1) 杉の評価

杉の場合、1年目の費用価合計はha当り1,601千円(地拵、植付及び下刈に要する投資的経費1,547千円、管理費54千円)である。これに毎年の管理費や2年目以降の下刈経費を加算し、さらに例えば年利4.5%の想定で金利要素を考慮すると、10年目の費用価は4,178千円となり、上記の林齢55年の市場価逆算法による評価額3,796千円を上回ってしまうことが判明した。

このため、昨今の超低金利、低い林業利回りを勘案し、金利要素を無視した10年目までの経費の単純合計を求めたところ、ha当り2,906千円となった。しかし、近年の厳しい林業経営を考えると、この2,906千円が実際に取得に要した費用であるとしても、売却による回収見込額の側面から検討すると、相当高いものと考えざるをえない。前掲参考文献「林地・立木の評価」(平成9年発行)第5編に、次のような記述がある。

10年ほど前に幼齢林の取引の実態について、林業経営者が集められた席上でお聞きしたところ、伐採時の山元立木価格を考えた場合、造林費用価の半額くらいでないと買えないという複数の方からの回答を得た。

今回の脱稿直前にも林業経営者にお会いする機会があったので、お聞きしたところ、ゼロ円的でないと買えない、頑張って買っても造林投資経費の1割くらいでしょうかというの大方の意見であった。

期望価法は、現在から伐期までに期待される純収穫を現在価値で評価する方法で、理論的ではあるが、多くの見積要素が絡み合って計算が難しく、恣意性の入りこむ余地も大きい。

また、前述のとおり、金利を無視した10年目の費用価2,906千円を使用してグラーゼル近似式を適用すると、林齢55年の市場価逆算法による評価3,796千円との差が小さいため、全体的に高めの評価になってしまう。

以上を考慮し、杉に関しては、初年度造林費1,601千円、55年目の伐期収入3,796千円を用い、2年目から54年目までは、一律グラーゼル式による評価が妥当なものと判断した。

#### (2) アカマツの評価

林齢55年のアカマツの市場価逆算法による評価額は、前述のとおりha当り710千円である。杉に比べ製品価格が安いこと、間伐時の収支はマイナスまたはほとんどゼロという結果であった。

また、アカマツの初年度造林費は1,448千円、10年目における単純経費合計は2,753千円であり、いずれも林齢55年の市場価逆算法による評価額710千円を上回っている。従って、2年目以降の林齢の立木に対し、杉と同様にグラーゼル式を当てはめることは妥当でないと考えた。

そこで、前掲参考文献「林地・立木の評価」で、著者の私案として、相続税評価額を初年度造林費とみなしてグラーゼル式を適用する方法が記載されていたことから、当該方法を採用することとした。ちなみに、平成14年度青森県における樹齢1年の松の標準評価額は、ha当り75千円である。

#### (3) カラマツ他の評価

杉、アカマツ以外の樹種が植栽面積に占める割合は3.8%に過ぎないため、カラマツ他の評価に関しては、アカマツの評価額をそのまま適用した。

### 3.4 評価額の試算結果

以上の前提により平成15年3月末現在の分収林の時価を試算した結果は次のとおりであった。

樹種	面積(ha)	評価額(千円)
杉	8,376.83	15,939,297
アカマツ	1,472.45	345,239
その他	393.00	98,469
評価額計	10,242.28	<b>16,383,005</b>
分収割合考慮後		<b>9,829,803</b>

貸借対照表計上額 39,556,567 A  
 修正後貸借対照表計上額 **32,601,594** B (A\*0.6)  
 差額 **△ 22,771,791** C  
 D  
 E (B-D)

林齢別評価は別紙のとおりであるが、全体で164億円(上記A)の評価となり、分収割合60%を乗じた後の評価額は98億円(上記B)となった。一方、本報告書第2の「3. 分収林勘定」で記載した修正後の分収林勘定帳簿価額は326億円(上記D)であることから、その差額は228億円(上記E)となった。

【杉の時価評価】

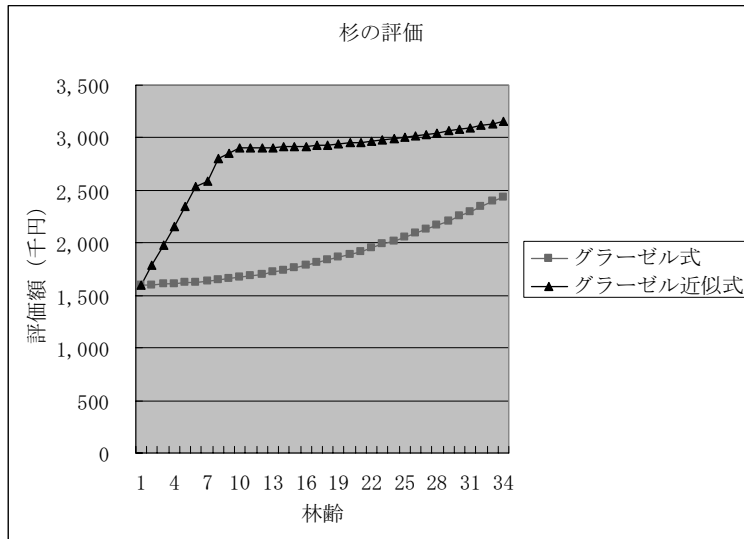
植栽年度	林齢	樹種	面積(ha)	ha当り立木標準価格(千円)	立木評価額(千円)
H15	1	スギ			
H14	2	〃	11.09	1,604	17,788
H13	3	〃	45.00	1,608	72,360
H12	4	〃	144.50	1,613	233,079
H11	5	〃	144.50	1,619	233,946
H10	6	〃	142.50	1,627	231,848
H09	7	〃	149.50	1,637	244,732
H08	8	〃	147.65	1,647	243,180
H07	9	〃	322.88	1,660	535,981
H06	10	〃	346.89	1,674	580,694
H05	11	〃	259.16	1,689	437,721
H04	12	〃	317.52	1,705	541,372
H03	13	〃	310.96	1,724	536,095
H02	14	〃	306.25	1,743	533,794
H01	15	〃	306.67	1,764	540,966
S63	16	〃	296.99	1,787	530,721
S62	17	〃	297.47	1,811	538,718
S61	18	〃	297.67	1,836	546,522
S60	19	〃	302.11	1,863	562,831
S59	20	〃	312.10	1,891	590,181
S58	21	〃	479.39	1,921	920,908
S57	22	〃	421.15	1,952	822,085
S56	23	〃	395.52	1,985	785,107
S55	24	〃	356.84	2,019	720,460
S54	25	〃	354.27	2,055	728,025
S53	26	〃	374.73	2,092	783,935
S52	27	〃	322.89	2,130	687,756
S51	28	〃	273.78	2,170	594,103
S50	29	〃	231.56	2,211	511,979
S49	30	〃	207.72	2,254	468,201
S48	31	〃	219.20	2,298	503,722
S47	32	〃	149.21	2,344	349,748
S46	33	〃	89.97	2,391	215,118
S45	34	〃	39.19	2,440	95,624
合計			8,376.83		15,939,297

【アカマツの時価評価】

植栽年度	林齢	樹種	面積 (ha)	ha当り立木 標準価格(千円)	立木評価額 (千円)
H15	1	アカマツ	0	75	0
H14	2	"	0	76	0
H13	3	"	0	77	0
H12	4	"	0	78	0
H11	5	"	0	80	0
H10	6	"	0	83	0
H09	7	"	0	85	0
H08	8	"	0	88	0
H07	9	"	0	92	0
H06	10	"	2.00	96	192
H05	11	"	0	100	0
H04	12	"	1.80	105	189
H03	13	"	6.01	110	661
H02	14	"	12.25	116	1,421
H01	15	"	9.60	122	1,171
S63	16	"	19.72	129	2,544
S62	17	"	19.08	136	2,595
S61	18	"	16.44	143	2,351
S60	19	"	20.76	151	3,135
S59	20	"	26.06	159	4,144
S58	21	"	15.86	168	2,664
S57	22	"	44.97	177	7,960
S56	23	"	49.61	186	9,227
S55	24	"	86.39	196	16,932
S54	25	"	84.74	206	17,456
S53	26	"	116.51	217	25,283
S52	27	"	136.60	228	31,145
S51	28	"	127.46	240	30,590
S50	29	"	167.07	252	42,102
S49	30	"	165.47	264	43,684
S48	31	"	137.56	277	38,104
S47	32	"	102.63	290	29,763
S46	33	"	78.68	304	23,919
S45	34	"	25.18	318	8,007
合計			1,472.45		345,239

【その他（カラマツ他）の時価評価】

植栽年度	林齢	樹種	面積 (ha)	ha当り立木 標準価格(千円)	立木評価額 (千円)
H15	1	その他	0	75	0
H14	2	"	11.09	76	843
H13	3	"	5.00	77	385
H12	4	"	5.50	78	429
H11	5	"	5.50	80	440
H10	6	"	0.50	83	42
H09	7	"	0	85	0
H08	8	"	0	88	0
H07	9	"	0	92	0
H06	10	"	0	96	0
H05	11	"	0	100	0
H04	12	"	0	105	0
H03	13	"	0	110	0
H02	14	"	0	116	0
H01	15	"	0	122	0
S63	16	"	2.00	129	258
S62	17	"	0	136	0
S61	18	"	0.56	143	80
S60	19	"	0.65	151	98
S59	20	"	2.30	159	366
S58	21	"	0	168	0
S57	22	"	1.70	177	301
S56	23	"	2.35	186	437
S55	24	"	4.00	196	784
S54	25	"	6.00	206	1,236
S53	26	"	6.80	217	1,476
S52	27	"	28.39	228	6,473
S51	28	"	38.06	240	9,134
S50	29	"	38.82	252	9,783
S49	30	"	75.19	264	19,850
S48	31	"	80.98	277	22,431
S47	32	"	23.41	290	6,789
S46	33	"	28.66	304	8,713
S45	34	"	25.54	318	8,122
			393.00		98,469



#### 4. 林業労働力確保支援センター事業について

(意見)

センターの役割は公益性が高いことから、その効率性のみを問うことは適切でない。しかしながら、実績のない事業があることや県の「基本計画」に十分沿っているとはいえないことを鑑みれば、センターが本来求められている役割を十分に果たしているかどうか疑問である。特に、林業従事者及び潜在的従事者に対する指導・教育・相談受付等のソフト的的事业については生産物がないことから、実績が上がらなければ補助金が無駄に人件費に費やされた結果になる。確かに林業をとりまく環境は厳しく、また国の政策に左右される部分があることは否定できないが、センターの事業のあり方については検討が必要と考える。

#### 5. 会社の今後の方向性について

会社設立の昭和45年当時に比べると、林業を取り巻く環境は激変した。

設立当時は、木材相場は上昇中であり、林業利回りも6~7%の幸福な時代であった。その当時は、森林所有者による林業生産活動を産業政策の観点から助長していけば適切な森林整備が行われ、自ずと確保されるとの考え方のもとに、国の造林施策の一環として、林業会社の設立と分取造林事業が進められた。

しかしながら、昭和55年をピークに木材相場は長期的に下落し、加工経費と流通経費の上昇により、製品価格に占める立木価格の割合が急激に低下している。杉の山元立木価格は、平成14年度でm<sup>3</sup>当たり5,332円と、昭和30年当初のレベルまで下落している。その結果、山林所有者の林業経営に対する意欲は減退し、林業に携わる労働者の高齢化も急激に進んでいる。

平成12年12月の林政改正大綱では、「これまでの木材生産を主体とした政策を抜本的に見直し、国土保全、水資源かん養、環境の保全等森林の多様な機能の持続的な発揮を図るための政策へ再構築し、他省庁との関連施策との連携を図りつつ、民有林・国有林が一体となって関連施策を推進する。」こととされた。

平成14年3月に策定した「青森県森林・林業基本計画」では、基本理念を「いのち育むふるさとの森づくりと循環型社会に貢献する林業・木材産業の振興」として、林業・木材産業の健全な発展を通じて、郷土樹種による森林づくりを進め森林の持つ多面的な機能を十分に発揮させることによって、豊かな県民生活の実現を目指すこととしている。そして、計画実現のために、「緑資源公団及び(財)青い森振興公社は、公的機関として森林等の適正な整備を推進し、水源かん養や山地災害防止などの公益的機能に優れた森林を育成するとともに、地域の振興に資することが期待されます。また、青い森振興公

山元立木価格、丸太価格、製材品価格の推移  
(昭和30年～平成14年)

(単位：円/m³)

昭和30年	山元立木価格			丸太価格			製材品価格		
	スギ	ヒノキ	マツ	スギ中丸太 径14～22cm 長3.0m～4.0m	ヒノキ中丸太 径14～22cm 長3.0m～4.0m	スギ大丸太 径30cm上 長6.0m上	スギ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ヒノキ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	マツ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m
31	5,232	5,879	3,454	8,500	9,000	—	13,700	20,100	—
32	6,280	6,878	4,187	9,700	13,300	—	16,200	22,600	—
33	6,581	7,256	4,235	9,600	12,600	—	15,600	23,200	—
34	6,782	7,433	4,312	9,900	11,700	—	16,300	23,900	—
35	7,148	7,996	4,603	11,900	12,000	—	17,300	25,500	—
36	9,081	10,293	5,948	14,300	15,900	—	22,600	34,200	—
37	9,787	10,864	6,336	15,800	16,900	—	21,800	34,600	—
38	9,732	11,090	6,170	14,900	16,100	—	22,700	35,800	—
39	9,683	10,839	6,048	14,800	16,700	—	21,700	35,300	—
40	9,280	10,645	5,743	14,000	16,000	12,600	22,200	34,200	—
41	9,757	11,288	5,815	15,300	22,300	12,600	24,000	41,300	—
42	11,432	14,305	7,041	18,700	29,700	13,400	28,000	53,700	—
43	12,679	17,420	7,738	19,300	32,800	14,100	33,100	64,200	—
44	13,375	19,494	7,827	18,900	37,500	14,600	34,100	72,900	—
45	13,168	21,352	7,677	18,900	34,500	14,400	34,300	77,400	—
46	12,040	19,772	7,622	17,100	32,700	14,700	32,200	67,600	—
47	11,954	19,681	6,910	19,100	35,400	16,100	41,800	80,100	—
48	10,571	28,137	9,499	27,900	54,400	25,500	60,700	117,400	45,800
49	19,625	34,763	11,754	35,100	65,100	25,400	59,800	119,800	48,400
50	19,726	35,894	10,899	31,900	66,000	24,100	56,200	118,900	48,200
51	19,880	36,718	10,647	31,200	66,300	25,600	62,100	129,100	45,600
52	19,631	36,573	10,589	30,500	65,900	25,400	59,000	118,500	45,200
53	19,642	34,566	9,831	36,900	58,500	23,100	52,900	110,400	41,600
54	19,087	36,574	9,602	34,700	70,300	29,600	68,800	137,700	58,400
55	22,787	42,947	11,582	38,700	78,200	34,100	70,400	141,500	58,200
56	20,214	39,577	9,850	32,600	68,200	28,900	56,600	117,800	48,600
57	18,886	37,581	9,691	30,700	65,300	29,200	56,400	111,400	50,800
58	17,676	36,481	8,787	27,900	69,800	28,000	53,300	99,800	47,200
59	16,247	33,068	8,568	25,800	55,700	24,900	51,400	89,300	45,200
60	15,156	30,981	7,903	24,900	53,900	24,700	51,100	88,400	45,900
61	18,144	29,736	7,432	25,500	53,300	29,600	48,300	89,100	41,900
62	13,623	29,627	7,628	24,300	60,300	29,800	56,700	120,400	46,100
63	14,671	31,897	7,258	24,900	62,100	21,700	54,000	114,300	46,500
平成元年	14,282	32,388	7,366	25,300	60,800	23,800	53,400	115,300	51,700
2	14,585	33,607	7,528	26,000	67,600	26,100	58,700	118,900	56,800
3	14,290	33,153	7,470	26,000	65,500	24,500	56,500	111,800	54,500
4	13,890	30,314	6,880	22,700	59,000	24,500	58,600	106,300	54,200
5	12,876	30,382	6,676	23,900	59,000	27,200	62,100	107,400	60,900
6	12,482	29,172	6,356	22,600	57,900	27,000	61,900	107,200	59,800
7	11,780	27,607	5,966	21,700	53,400	25,900	58,700	100,600	57,100
8	10,810	26,409	5,501	22,600	53,800	26,600	57,400	102,800	55,900
9	10,313	24,603	5,220	21,100	49,100	25,400	58,100	102,200	58,300
10	9,781	21,430	4,405	18,900	43,100	24,900	47,400	76,400	52,700
11	8,191	19,840	4,270	18,800	42,400	23,700	48,200	75,600	51,200
12	7,784	19,237	4,168	17,200	40,200	22,300	47,300	75,700	50,100
13	7,847	18,650	3,869	15,700	37,800	21,900	44,700	73,800	49,600
14	8,332	19,571	3,988	14,000	31,500	21,700	42,000	69,100	49,100

資料：(財)日本不動態研究所「山林業態及び山元立木価格概

農林水産省「木材需給結果年報告書(平成7年9月)」(昭和30年～平成5年)、「木材需給報告書」(平成6年～平成13年)

注：1) 山元立木価格は、利用材積1m³当たり価格である(各年3月末現在)。

2) 丸太価格は、各工場における工場着購入価格である。

3) 製材品価格は、小売業者への店頭渡し販売価格である。

4) 丸太及び製材品価格は、平成12年の推定消費量による加重平均値である。

出典：農林統計協会「図説森林・林業白書平成14年度」

社は、ボランティア活動の仲介役などを通じ、里山林の整備など新たな形の森林整備を推進することが求められます。」とされている。

公社では、平成14年度限りでの新規植林の中止、県借入金の無利子化、既存借入金利子の凍結、分取割合の引き上げ交渉、平成15年4月の公社統合と、大幅な転換を図っている。また、公社の試算では、所有する森林の公益的機能の評価額は、年間175億円であるとしている。

(意見)

公社の分取造林事業の採算性に疑問があるからといって、既往の1万ha余りの森林を直ちに皆伐することや保育を放棄することは許されるものではない。また、取得価額で土地所有者に立木を売却することも無理であろう。従って、当面は、既往の分取林の管理運営を行い、土地所有者と分取割合の変更を粘り強く交渉し、市町村有林や県営林の管理受託等の業務を拡大していくしかないものと思われる。

しかし、借入金で全ての事業費を賄うというスキーム、公社として事業を継続すべきかどうかについては、今後検討の余地があるものと考えられる。



木材需要（供給）量の推移（昭和30年～平成13年）

（単位：千 $m^3$ 、%）

昭和30年	総需要 (供給)量	用材	薪炭材	しいたけ原料	用材部 門 別				用材供給先別		用材 自給率
					製材用	パルプ・チップ	合板用	その他用	国産材	外 材	
30	65,266	45,278	19,508	—	30,235	8,285	2,287	4,661	42,794	2,484	54.3
31	69,269	49,515	19,694	—	32,271	8,811	2,776	4,657	45,286	2,277	59.2
32	71,364	51,214	20,090	—	32,905	10,917	2,680	5,112	47,713	2,501	59.2
33	68,085	49,011	17,074	—	32,299	8,253	2,584	4,876	43,794	4,217	61.2
34	65,912	51,124	14,788	—	33,712	9,181	3,094	5,187	45,438	5,686	68.9
35	71,467	56,547	14,920	—	32,789	10,189	3,178	5,281	49,006	2,541	68.7
36	74,142	61,050	12,577	—	40,801	11,834	3,365	5,475	52,916	10,749	62.3
37	75,148	63,956	11,102	—	41,954	12,805	4,899	5,087	52,802	13,154	79.4
38	77,167	67,763	9,406	—	44,424	14,615	4,852	4,870	51,119	18,642	75.4
39	78,999	70,838	8,170	—	46,751	15,052	4,943	4,081	51,660	19,168	72.9
40	78,798	70,530	6,261	—	47,084	14,505	5,187	3,954	50,375	20,155	71.4
41	82,470	75,878	5,594	—	50,373	15,375	6,257	3,871	51,695	23,041	67.4
42	92,190	85,947	4,838	1,525	55,308	17,375	7,476	3,684	52,741	31,206	61.4
43	97,239	91,804	3,977	1,455	58,981	20,225	8,312	3,688	60,563	42,843	53.3
44	99,870	95,570	2,845	1,482	59,534	22,122	10,597	3,317	66,811	49,755	49.0
45	106,901	102,879	2,348	1,574	62,009	24,007	13,029	3,724	69,241	56,438	45.0
46	105,525	101,485	2,288	1,784	59,801	25,715	13,322	3,527	65,966	53,439	45.3
47	110,497	106,584	2,294	1,888	63,613	29,202	14,309	2,389	63,941	62,563	41.3
48	111,020	117,581	1,554	1,882	67,470	30,415	17,151	2,345	62,209	75,372	35.9
49	116,625	113,940	1,336	1,850	69,134	34,567	14,491	2,869	70,474	73,566	34.9
50	99,303	98,303	1,132	1,880	55,343	27,298	11,179	2,557	64,571	61,792	35.9
51	106,536	102,409	1,286	1,840	57,394	29,039	12,986	2,437	66,766	69,845	34.9
52	104,861	101,854	1,050	1,957	56,564	29,841	12,717	2,732	64,231	67,623	38.6
53	106,544	103,417	893	2,435	57,566	29,593	13,585	2,875	62,554	70,859	31.5
54	112,839	109,786	337	2,116	60,314	27,132	13,915	3,420	65,784	76,062	30.8
55	112,211	108,964	1,200	2,447	56,712	26,888	12,840	3,543	64,557	74,487	31.7
56	94,588	91,829	791	3,960	48,718	29,564	11,686	2,969	51,432	60,197	34.4
57	92,953	90,157	924	3,852	47,862	28,379	10,409	3,517	52,154	58,003	36.7
58	95,707	91,161	610	3,935	45,290	30,584	10,649	3,736	52,315	58,645	36.4
59	95,963	91,261	614	3,984	44,518	32,433	10,564	3,746	52,874	58,487	36.0
60	95,447	92,501	572	3,974	44,339	32,915	11,217	4,230	53,974	59,827	35.6
61	96,883	94,506	481	3,895	44,332	33,559	10,942	5,073	51,613	62,893	33.5
62	105,382	103,136	823	3,823	47,337	34,671	13,462	7,069	59,984	72,152	33.0
63	108,469	100,282	443	3,735	43,681	38,365	15,028	1,316	59,998	75,284	29.2
平成元年	113,985	113,850	519	3,616	45,481	42,313	14,783	1,353	60,586	83,264	29.9
2	112,240	111,358	517	3,563	43,887	41,348	14,548	1,382	59,207	81,793	29.4
3	114,137	112,356	548	3,423	42,230	44,345	14,216	1,475	57,999	84,197	25.0
4	119,544	108,539	610	3,374	40,931	42,760	13,889	1,419	57,160	81,365	25.0
5	119,326	108,383	683	3,262	41,169	40,894	14,333	1,797	55,597	82,786	23.6
6	111,398	105,401	711	3,186	41,001	42,370	14,099	2,025	54,477	85,024	22.4
7	113,706	111,939	721	3,065	39,384	44,931	14,314	2,340	52,915	89,016	20.5
8	114,040	112,325	749	2,967	39,756	43,822	15,726	3,018	52,483	89,842	20.0
9	111,634	109,911	777	2,864	40,209	43,736	15,357	2,574	51,564	88,307	19.6
10	93,800	92,936	773	2,719	37,161	42,140	11,140	1,689	49,331	72,725	21.8
11	99,686	97,810	972	2,604	41,178	40,956	13,705	1,970	48,752	79,048	19.2
12	101,000	99,290	948	2,483	40,945	42,186	13,825	2,383	48,819	81,241	18.7
13	92,937	91,242	977	2,318	37,084	38,706	13,074	2,377	46,157	74,485	18.4

資料：林野庁「木材需給表」

- 注：1) 需給（供給）量は、丸太の需給（供給）量と輸入した製材品、合板、パルプ・チップ等の製品を丸太材種に換算した需給（供給）量とを合計したものである。  
 2) その値は、構造用集成材、加工材、枕木、電柱、くい丸太、足場丸太等である。  
 3) 用材自給率は、国産材用材供給量÷総用材供給量×100である。  
 4) 総計と内訳の計が一致しないのは四捨五入によるものである。

出典：農林統計協会「図説森林・林業白書平成14年度」





(発行所・発行人)  
青森市長島一丁目一番一  
号  
青森県

(印刷所・販売人)  
青森市第一問屋町三丁目番七  
号  
東奥印刷株式会社

毎週月・水・金曜日発行  
定価小口一枚二付十五円一銭